

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 加古川医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	透I 訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,393,607	35,520	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

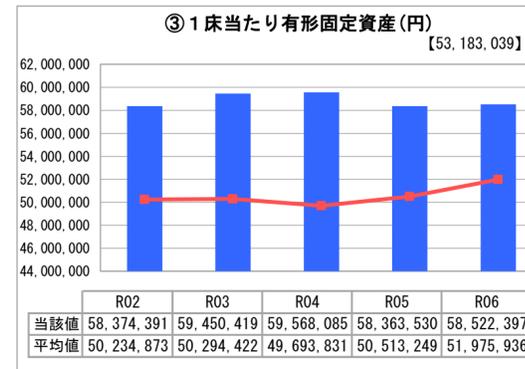
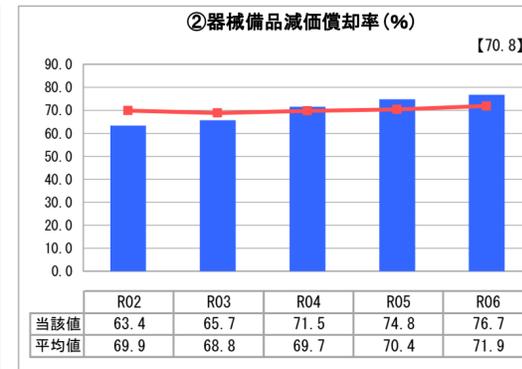
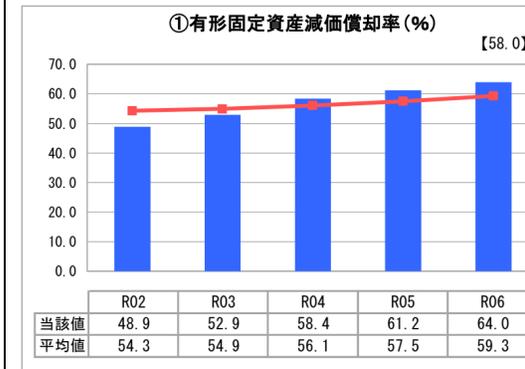
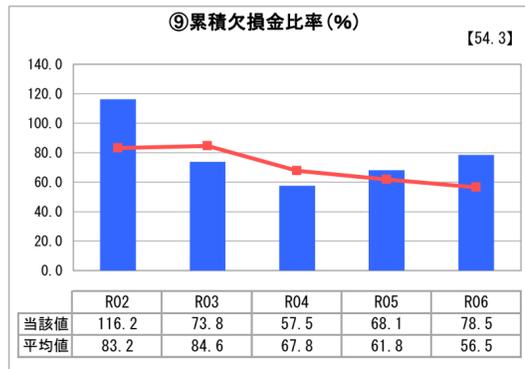
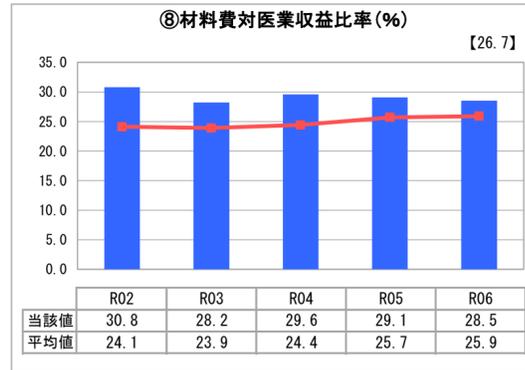
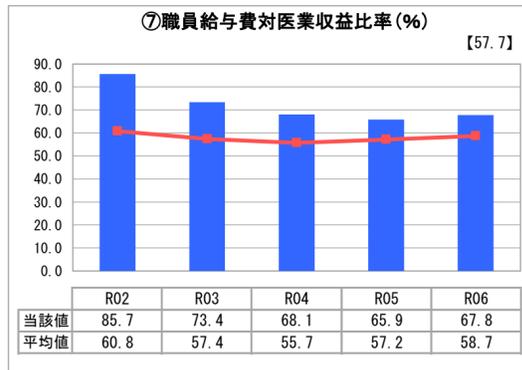
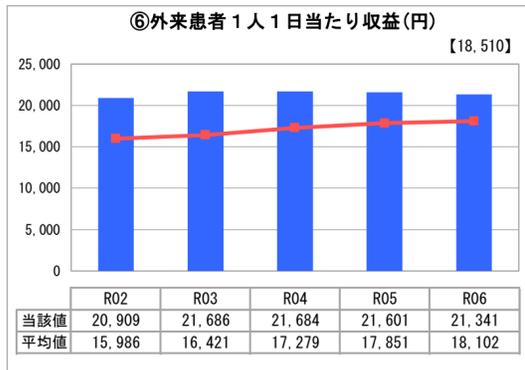
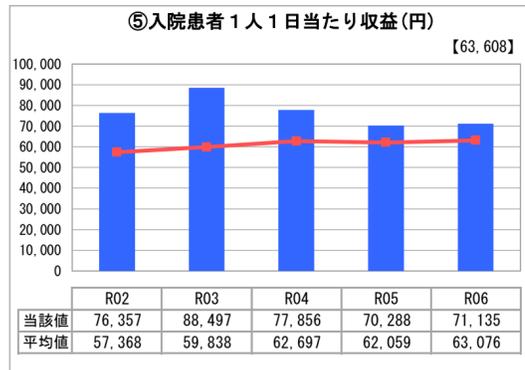
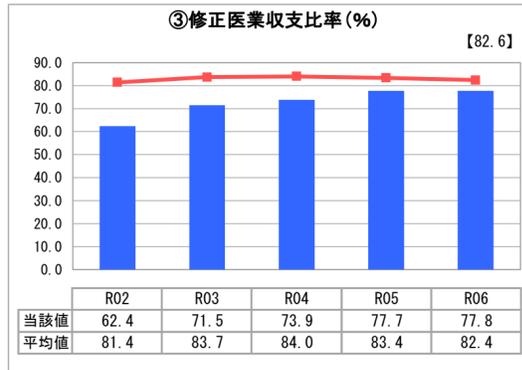
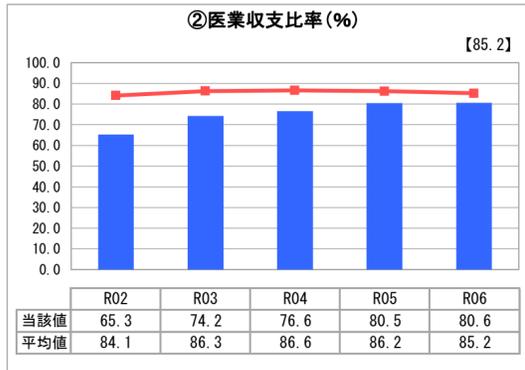
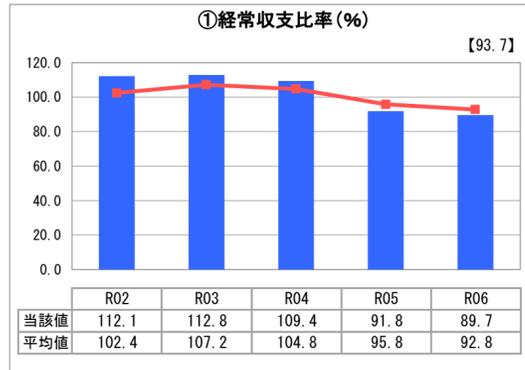
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
345	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	8	353
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
345	-	345

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として、当医療センター開設時に定めた5つの政策医療を提供するとともに、地域のニーズも踏まえ、内科、外科、整形外科等主要診療科を中心に診療機能の充実を図りつつ高度専門医療を提供する。
 (5つの政策医療)
 ① 3次救急医療
 ② 生活習慣病医療
 ③ 1類・2類感染症医療
 ④ 神経難病医療
 ⑤ 緩和ケア医療

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、地域医療連携の強化による新規患者の確保や救急受入れ体制の確保などの取り組みにより、病床利用率は前年度に比べて上昇し、類似病院平均を上回った。
 入院・外来患者数の増により医業収益は前年度に比べて増加したが、人件費・物価上昇の影響を受けて給与費や材料費等が増加したため、医業収支比率はほぼ前年度並みとなり、類似病院平均を下回った。
 新型コロナウイルス感染症関連補助金の終了により、医業外収益が減少したため、経常収支比率は前年度よりも低下して、類似病院平均を下回った。

2. 老朽化の状況について

令和6年度の「有形固定資産減価償却率」「器械備品減価償却率」は、いずれも類似病院平均を上回っており、老朽化が進んでいる。
 平成21年度の当医療センター開設から15年が経過し、建物設備の老朽化が進みつつあり、計画的な改修が必要となっている。
 また、平成21年度の開設時及びそれ以前に旧病院で整備した器械備品で、耐用年数を超過して老朽化したものが多数あり、早急な更新が必要な状況となっている。

全体総括

令和6年度は、患者確保など収益向上に取り組んだ結果、前年度に比べて病床利用率は上昇し、医業収益は増加したが、新型コロナウイルス感染症関連補助金の終了と、人件費や物価の上昇による費用の増加により収支は悪化し、損失が前年度よりも拡大して、累積欠損金が増加した。
 入院、外来ともに患者数は新型コロナウイルス感染拡大前の状況には回復しておらず、人件費や物価の上昇も続いているため、今後も厳しい経営状況が継続すると予想される。
 引き続き、当医療センターの特色を活かした高度専門医療の提供に努めるとともに、兵庫県立病院経営対策委員会において取りまとめられた収支改善策の着実な実施により、経営改善に取り組んでいく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。